

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年3月18日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4678100084
法人名	社会福祉法人 幸風会
事業所名	グループホーム あじさい
所在地	鹿児島県熊毛郡南種子町中之上1702番地4 (電話) 0997-26-2345
自己評価作成日	平成28年1月30日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成28年2月29日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・利用者一人ひとりが真の思いを大切にし、その人らしい生活が笑顔で送れるように、利用者の生活リズムに合わせた援助を行う事で、希望や思いが叶うようにします。

・家庭的な雰囲気と思いやり助け合いを大切にし、利用者がゆったりと過ごす時間を大切に笑顔で暮らせるホームにします。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・当ホームは特別養護老人ホームに併設されたホームであり、隣接する公立医療機関の医師や薬剤師の往診もあり、常時医療についての助言・提案を得ている。緊急事等は関係機関と検討を行い支援している。

・地域の運動会や老人会・ふるさと祭り等へ積極的に参加し、農作物販売会場で利用者が作った手芸品などを出品して楽しんでいる。中・高校生・地域住民のボランティアも受け入れている。地域で行なわれる音楽祭にも招待され、日常的に地域と交流している。

・年3回消防署の指導のもと夜間想定を含め、避難訓練を実施している。地域の消防団と連携を取り、老人会からも自主的に訓練活動参加の申し出があり、協力体制を築いている。

・地元の食材等のじゃが芋やつわ等を調理し食欲増進を図っている。敷地内に菜園があり、利用者と一緒に収穫している。利用者の好みや要望を聞き、刺身やパン・弁当等、多種対応している。家族の協力を得て外食等で好きな物を食べたりして楽しんでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	職員間で会議時にみんなで具体的なケアについて確認し合い、理念を基に唱和してケアの統一を図り実践を行っています。	理念は外部の人にも分かるような玄関やリビング・事務所・トイレ等に掲示し、職員で朝、唱和をして仕事のスタートとして、職員の意識付けを徹底している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の文化祭での作品の展示・販売に参加しています。地域の学校の運動会や音楽発表会に参加したりボランティアによる郷土芸能や慰問で交流を行っています。	地域の運動会や老人会・ふるさと祭り等へ積極的に参加している。農作物販売会場で利用者が作った手芸品などを出品して楽しんでいる。中・高校生・地域住民のボランティアも受け入れている。地域で行なわれる音楽祭にも招待され、日常的に地域と交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	事業所内で認知症高齢者の理解についての研修を行い、地域で暮らす認知症高齢者の支援や理解者の一員として活動しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>会議の中で状況の報告や活動報告を行い、利用者の状況を見て頂き話し合いの中で意見を出し合いサービスや運営に活かしています。</p>	<p>会議は定期的開催している。行事や活動状況の報告・外部評価の報告等を行い、意見など取り入れてサービス向上に活かしている。家族からの要望で書類等の名前の記載はプライバシーに配慮欲しいとの意見を反映している。家族の参加率も高く、地域や行政からの意見や助言も得て活用している。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>日頃より町の担当者に、ケアや課題解決の為に相談したり、助言を受けながら連携を取りサービスを進めています。</p>	<p>行政の担当者とは日頃から密に連携を取って、書類や困難な事例も電話で直ぐ対応できる関係性を築いている。運営推進会議にも必ず出席して貰うよう依頼している。会議の中で現況を理解してもらったり、最近の情報を話してもらうようにしている。介護保険担当者にも直接訪問し協力関係を築いている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>法人内の身体拘束委員会や研修会へ参加し、身体拘束の意義についての理解を深め拘束しないケアを行っています。</p>	<p>身体拘束廃止委員会があり、法人全体の研修会に参加したり、ホームでの研修会や事例を出して「身体拘束はしない」を目標に資質向上に努めている。言葉のかけ方は慣れ合いにならないように職員間で注意し合っている。日中の玄関は施錠をせずに、職員間の連携で利用者は自由な暮らしをしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体的な虐待だけでなく、言葉・心理的・経済的な虐待について研修することで理解を深めて施設内から虐待が起きない様に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	今まで利用された方はいらっしゃいませんが、制度については管理者がパンフレット等で簡単な説明を行っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入所に関しては特に、利用者や家族の気持ちを十分に察し、丁寧に説明する事で納得・理解しています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者・家族の意見や要望に対しては職員で話し合い、検討・改善に向けた取り組みを行っています。また、運営推進会議でも検討しています。	利用者からは日常の言葉や行動・しぐさ等を記録し思いを把握している。家族からは3ヶ月に1回、あじさい通信を発行し、返信用封筒を入れて意見を聞く取り組みを行っている。家族会で食事会を通して意見を聞く機会を設けたり、家族の面会時も聞いている。記名に関するプライバシーに配慮すること等、家族からの意見を運営に反映している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>その都度、職員の意見を聞き代表者会議に提案し話し合い運営に活かせる様にしています。</p>	<p>管理者は日々の業務の中で職員の悩みや思いを聞くよう努めている。個別面談を行い、勤務の相談などにも応じている。職員の食事会を年2回したり、会議が終了してからお茶を飲みながら懇談する等、働きやすい職場である。勤務表の急な変更も職員同士で話し管理者に結果を話している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>管理者が個々の勤務態度や頑張りの評価を行い代表者に報告、定年まで働ける様な環境・条件を整えられる様に努めています。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>地区の研修会を中心に積極的に参加しています。事業所内の研修や研修報告、法人での研修報告を行い介護力の向上に努めています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>各事業所が集う地区の研修会に参加し交流を深め、サービスの質の向上に取り組んでいます。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前に本人のニーズや身体・精神状況等を本人・家族に聞き、利用者本位のサービスを提供し安心して暮らせる様に努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の不安や困っている事にも耳を傾ける事で精神的な支援を行い信頼関係を築く様にしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	身体・精神状況を的確に把握し必要な支援が考えられる場合は他の事業所やサービスの紹介をして相談を受ける様に努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者の得意な部分を活かし役割を持って、一緒に生活を築き上げて行く様な工夫や声掛けに努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家統の思いに寄り添いながら、日々の暮らしの出来事や気づきの提供・共有に努め本人と一緒に支える為に、家族と同じ思いで支援していく事に努めています。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>知人や友人・なじみの場所等に本人が関わりを継続出来る様に一緒に出掛けたり、来て頂いたりして継続的な交流が出来る様に働きかけています。</p>	<p>馴染みの関係性を継続できるように、職員で自宅や知人宅への訪問や来訪を依頼している。家族の協力体制も良く、墓参の外出や正月などに帰宅したり、外食・馴染みの美容室への利用など、昔からの付き合いを大切にしている。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>個別に話をしたり、気の合った者同士で過ごせる場所作りをしたり、皆で楽しく過ごす時間を作ったりしています。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>併設の特養に入所された方やデイサービスを利用されている方とは、行事等も一緒に行い交流や関わりを持っています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常の関わりの中で、声掛けなどコミュニケーションに努め思いの把握を行っています。言葉や表情から真意を汲み取りそれとなく確認する様にしています。	利用者とはホームに慣れて来ると色々話しをして貰えるので、信頼関係や馴染みの関係を早く作れるように声かけを多くして、思いを聞いている。コミュニケーションがとりにくい場合は、動作や表情などから思いを把握したり、家族からの聞き取りに心がけて思いや意向を把握して本人中心の支援を行っている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの生活歴やこだわり・馴染みの物や暮らし方を本人・家族・ケアマネ等から聞き取っています。			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの生活リズムを理解して動きや声・表情等から心身の状態を感じ取ることが出来る様に努めています。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>職員間で日常生活の様子や表情などの気付きを記入して、本人・家族・職員の意見を取り入れて介護計画を作成しています。</p>	<p>本人や家族の希望や意見を聞き、主治医や薬剤師にも参加してもらい介護計画を作成している。モニタリングは毎月行い、他職種との連携も行いチームで取り組んでいる。日常の個別記録を、職員で検討して課題分析をして、ケアのやり方を検討している。状態の変化時はその都度計画を変更している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>食事・排泄・体調の変化や日々の様子など気付き等を個別に記録し、全職員が確認出来る様にして、情報の共有を行い介護計画の見直し実践に活かしています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人・家族の思いや要望に応じて、受診の介助・自宅訪問等を柔軟に支援しています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域の一員として、町の祭りや体育祭・音楽発表会等への参加を行う事で、暮らしを楽しく過ごせる様に支援しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人・家族の希望を大切にし、希望者に対しては以前からのかかりつけ医・薬局での診療を継続しています。</p>	<p>本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。医療機関や歯科受診にも対応でき、家族や職員が付き添っている。隣接する公立医療機関の医師や薬剤師の往診もあり、常時医療についての助言・提案を得ている。</p>	
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとれた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>併設の特養看護師と密接な連携を取り、日常の健康管理や医療面での支援を受けています。利用者の普段の状態や持病等を良く知る看護資格を有するパート職員も居ます。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院による状態の悪化を極力防ぐ為面会に行ったり、家族・病院と支援方法に関する情報交換を行い早期に退院出来る様に支援しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時に利用者・家族に、プリントを渡して事業所の方針は説明しています。</p> <p>終末期になった場合は、家族・職員・関係機関と話し合い確認し対応しています。</p>	<p>重度化や終末期に向けた方針について説明書を作成し、契約時に説明し同意をもらっている。状態変化時には家族の希望を確認し、関係機関と十分に検討を行い支援している。看取りはしていないが、必要時は隣接する特別養護老人ホームへの入所申込み等の支援を行っている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時の対応については応急処置・連絡・対応について、研修会等を利用して話し合い確認しています。去年、AEDの設置をし、年に1度救急処置の訓練をしています。</p>	/	/
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署や地域の消防団の協力を頂き、夜間を含め年3回の避難訓練を行っています。災害に備えて非常食2～3日分備蓄してあります。</p>	<p>年3回消防署の指導のもと夜間想定を含め、避難訓練を実施している。地域の消防団と密に連携を取り、協力をもらい、訓練後に指導を受けている。老人会からも自主的に訓練活動参加の申し出があり、積極的な協力体制を築いている。災害時は水や冷凍品・ご飯・インスタント食品等が法人全体で備蓄されており、消費期限にも注意し対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員会や研修会等で利用者の生活歴を踏まえ、人生や人格を尊重しプライバシーを損ねない様な声掛けや対応の仕方について話し合い実践しています。	人格の尊重やプライバシーについては馴れ合いにならないよう事例検討や権利擁護等、職員間で研修や勉強会を開催している。新人教育の計画にも取り入れている。日々の業務の中で入浴や排泄時などの声かけには、特に気をつけている。本人自身の思いや、やりたいことを束縛したりしないようにしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員間で決めた事を押し付けず選択肢を提案し本人自身で納得出来る様に声掛けや働きかけをしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れはあるが、一人ひとりの状態に合わせて、その時々本人の気持ちを尊重し利用者本位のケアに心掛け柔軟な対応をしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	個々の生活習慣に合わせた支援を行い、衣類等は自分で選んで頂き個性を尊重しています。誕生会や外出時にはおしゃれをして参加しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	地元の野菜や山菜の下拵えをしながら、調理方法を相談したり会話を楽しみながら、簡単な盛り付け・下拵え等の出来る所をして頂いています。	地元の食材等のじゃが芋やつわ等を調理し食欲増進を図っている。敷地内に菜園があり、利用者と一緒に収穫している。利用者の好みや要望を聞き、刺身やパン・弁当等、多種対応している。片付けや盛り付けなど一緒に行っている。家族の協力を得て外食等で好きな物を食べたりしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	特養栄養士の立てた献立を参考にし、栄養バランスに気を付け見た目にも食欲が湧く様に工夫しています。水分補給は、摂取表を付けながら一人ひとりの状態に合わせた援助を行っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアの重要性を研修で学び、食後の歯磨きの声掛け介助や、うがい・入れ歯洗浄も援助しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄のパターンを把握する事で失敗が少なくトイレでの排泄がスムーズに出来、オムツから紙パンツ・布パンツへの移行が出来るようになり、気持ち良い排泄へと改善されている。	排泄チェック表から声かけしトイレ誘導を行い、失禁することも少なくなっている。各部屋にトイレがあるため、プライバシーも確保できている。水分や服薬・排泄管理により日中は布パンツで過ごす利用者が多い。本人の耳元で小声で話しかけ周りに気づかれないように、早めのトイレ誘導で自立支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	乳製品・繊維質の多い食材を使用したり水分をしっかり摂るなどしています。身体を動かす事で自然排便を促す取り組みや、かかりつけ医へ相談をしながら服薬の検討もしています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	基本的な入浴時間はありますが一人ひとりの希望や必要に応じて行っています。	入浴は週3回を基本にしているが、利用者の体調や希望に応じ、いつでも入浴できる体制を取っている。好みのシャンプーや入浴剤を使用している。いやがる利用者には、時間をずらしたり、その日が無理な時は、無理強いしないで足浴やシャワー浴をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の活動を促し生活リズムを整える様に努めています。その時々の状況に合わせて、一人ひとりの運動と休養のバランスが取れるように支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員が一人ひとりの服薬の内容を把握出来る様に、薬の説明書をいつでも見られる様にしています。処方や用量の変更時・状況の変化が見られた時は、協力医療機関や薬局との連携が図れる様にしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	野菜作りの得意な方・裁縫の好きな方・音楽の好きな方など、その方の生活暦や出来る事を活かした暮らしに心掛け、楽しく過ごせる様に支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天気の良い日はドライブや散歩に出かけたり、本人の希望に応じて随時外出の支援をしています。家族の方と外出する場合があります。	日常的には苑内の遊歩道を歩いたり、近所を散歩して馴染みの住民と世間話しをしている。本人の意向や希望を大切に、買い物等、常に寄り添って出かけている。ドライブで遠くまで外出するときもある。家族と外食や墓参りにも行っている。特別養護老人ホームのリフト車で車椅子の利用者も季節の花を見に行けるようにして支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>自己管理出来る方には所持して頂いて、外出時に使える様に支援しています。使わなくても所持だけしている方もいます。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>毎年、年賀状を出したり手紙を書く方もおられ代筆・投函の支援や、家族・知人の方が電話をしやすい雰囲気作りに努めています。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居間兼食堂は明るくソファもあり、利用者が好みの場所でゆっくりと居心地良く過ごせる様にして、季節の花や手作りの飾り付け等を行っています。</p>	<p>リビングは中庭が見渡せる開放的な空間であり、日当たりもよく適温を維持し、明るい環境である。童謡などBGMも流れており、入居者が懐かしみを感じ、穏やかに過ごせる空間となっている。季節物の飾り付けや入居者手作りの作品も展示されている。居間から食堂ホールが見える位置にあり、食事ができるまで、美味しそうな臭いや音で五感を刺激し快適なスペースになっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>居間にソファを置き仲の良い利用者同士や一人でゆっくり過ごしくつろげるスペースがあります。マッサージ機も二台置き使用されています。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室にはそれぞれトイレ・洗面台があり行動能力に合わせてベッドの位置を工夫したり、居心地良く過ごせる様に写真や使い慣れた物が持ち込まれ居心地良く過ごせる様に配慮しています。</p>	<p>居室はエアコンやベッド・タンス・トイレが備え付けである。家族の写真やカレンダー・自宅で使い馴れた寝具や家具・テレビ等が持ち込まれている。物の配置は本人や家族で話し合っ決めてるので安心してくつろげる、居心地の良い居室となっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>利用者の状態に合わせ、手すり浴室・トイレ・廊下・居室等の環境が適しているかを会議等で見直し、安全確保と自立への配慮をしています。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない